

《令和5年度自他評価シート集計》

保育士7名（正規4名・非正規3名）

1よくできている 2まあまあできている 3あまりできていない（努力が必要） 4できていない（かなりの努力が必要）

1 保育の理念・保育観	自己評価
①全ての子どもについて、一人ひとりの存在と人権を尊重しているか	2
②児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮して、子どもの生活と健全な発達を保障することが保育園の必要な使命だと理解しているか	2
③日頃から「保育所保育指針」をよく読み、理解した上で、保育内容や保育方法を考えるときのガイドラインとしているか	3
④保育が、子どもの生涯の基礎を培う極めて大切な役割を担っていると認識して保育しているか	1
⑤保育所保育は養護と教育が一体となって行われている、ということ意識して保育しているか	2
⑥入園している子どもの保育だけでなく、地域の子育て支援をする社会的役割があることを認識しているか	2
⑦子どもの性差や個人差にも留意しながら、固定的な性別役割分業意識を備え付けることのないように配慮しているか	1
⑧日頃から、子どもに身体的苦痛を与えたり、人格を奪めるなど精神的苦痛を与えることがないようにしているか	1
⑨個人情報の保護に配慮し、子どもやその家庭についての秘密を正当な理由なく漏らすことがないようにしているか	1
⑩様々な特徴を持つ子どもも持たない子ども、一人ひとりのありのままの姿を受けとめ、すべての子どもが健やかに成長することを願って保育をしているか	2
⑪育児の考え方について保護者とあなたが食い違っているとき、先ず相手の気持ちを受けとめ、話し合いその保護者の立場や考え方を理解するよう努めているか	2
⑫子どもの家庭状況は多様だという考えの上で、今、その子に何が必要かを見極め、それぞれにとって適切な援助をしているか	2
⑬子どもが熱中しているときは、その時の保育の内容や流れに変更が生じて、危険のない限りその活動を見守るなどの柔軟性を持っているか	2
⑭子どもと一緒に思い切り体を動かして遊ぶことの重要性を理解し、楽しんでいるか	2
⑮一人ひとりの子どもに目が行き届いていたりか振り返り、これからの保育の課題を見つけることができているか	2

2 保育の内容	自己評価
2-1 保育計画・指導計画	
①指導計画を作成するとき、「保育所保育指針」を読み、参考にしているか	3
②保育園の方針を理解し、全体の計画をもとにして指導計画を作成しているか	2
③月・週案などには、養護的側面（生命の保持・情緒の安定）だけでなく教育的側面（5領域）がしっかりと盛り込まれているか	2
④子ども一人ひとりの発達や興味の対象の実態を把握して、月・週・日案などを作成しているか	3
⑤月・週・日案などには、子どもの意欲を誘う環境構成が十分工夫されているか	3
⑥担任同士で、よく話し合ってお互いの考えを十分に理解した上で、月・週・日案などを立てているか	2
⑦園の保育理念や方針・目標、自分の作成した年・月・週・日案などのねらいや内容を、保護者に分かるように説明できるか	3
⑧季節感や日本の伝統的な行事などを指導計画のなかに取り入れるようにしているか	2
⑨月・週・日案などが、実際の子ども達の姿、興味・関心に合っていたかという視点から自分の保育を評価・反省しているか	2
2-2 乳児保育・3歳未満児保育	
①一人ひとりの子どもの出生時の状況、その後の発育・発達など、生育歴を細かに把握するとともに保護者の状況などの背景も理解しているか	2
②子ども一人ひとりの健康状態などを、随時職員相互で確認し合っているか	1
③おむつ交換は「きもちいいね」などやさしく声をかけたり、マッサージしたりして、排便の回数、便性を観察して臀部を清拭しているか	1
④赤ちゃんの目の動き、泣き声、しぐさ、片言をメッセージとして受け止め、ほほえみ、要求に応じる言葉をやさしく返しているか	1
⑤子どもを外気に触れさせたり、適度な戸外遊びをさせたりして、健康増進をはかるようにしているか	1
⑥子どもが主体となり、生活や遊びを通して自己を発揮できる保育を心がけているか	2
⑦自分の服装の色合い、髪型・爪などの清潔や、室内の清掃にも配慮しているか	2
⑧乳児を寝かせる場合には睡眠中の子どもの顔色、呼吸の状態を観察するなど、SIDS等への予防に努めているか	2
⑨連絡ノートを活用するなどして、保育園以外での子どもの様子も把握するように努めているか	2
⑩大勢の子どもを保育するときでもあなたを独占したがるその子の気持ちも十分に満たすなど子どもの背景に配慮しながら、個別対応の努力や工夫ができているか	2
⑪「できない、やって！」と甘えてくるときは、その都度、その子の気持ちを受け止め、一人ひとりの発達に応じて要求を満たす援助をしているか	2
⑫子どもの「これなに？」、「どうして？」などの繰り返しの質問に、忙しいときでもできるだけその都度応えようとしているか	2
⑬探索活動が十分行えるよう、安全にはよく気を配りつつ、環境を整えようとして子どもが要求する行動を容認できていますか	2
⑭着替えや食事などの時には、その子に応じた手助けやこぼかけをしながら、時間を要しても自分からしようとする気持ちを大切にしているか	2
⑮食べ物をごぼしたり汚したりしながらも、子どもが自分で食べる意欲を育てるために、楽しい雰囲気や食事ができることを第一に考えているか	1
⑯子どもがおもちゃの取り合いなどでぶつかり合うとき、危険のないよう配慮しつつ、子どもの発達の程度や心の動きを考えながら、しばらく見守ることができているか	2
⑰「おや、何だろう？」、「これで遊ぼう」と好奇心や興味を引き起こす材料や素材、場を用意する心配りしているか	2
⑱散歩の時、保育者も一緒に楽しみながら、花や葉、虫や動物などを見つたりして、子どもとともに自然物や動物への興味・関心を持つことを大切にしているか	1
⑲子どもと会話をするときに、その子の視線に合わせて話をゆっくり聞いて、子どもの話したい気持ちや伝わった喜びを共感しているか	1
⑳自分の表情に配慮しながら、子どもにわかるように、ゆっくり、はっきり、おだやかに、具体的な短い言葉で語りかけているか	2
㉑命令や禁止語を不必要に用いないようにし、子どもの姿を肯定的に捉えた声掛けを心がけているか	2
㉒子どもに「絵本を読んで」、「遊んで」と言われた時に、場面に応じて「待つ」と言った場合にも、その理由を伝え、その子の気持ちに添っているか	2
㉓歌を歌ったり、リズムに合わせて体を動かすとき、あなたは歌や動きを子どもに合わせて、一緒に楽しむことができているか	1
㉔わがままで「いやだ」という子どもに内面に配慮しながら、その子の気持ちを肯定的な方向に向けるようにしているか	2
㉕自分の思いどおりならず、おこたたり泣いたりする子どもに対して、ていねいに話してきかせたり、気持ちを切り替える時間をとり、ゆったりと待つことができているか	2
2-3 特別な配慮や支援を必要とする子ども（障がい児）の保育	
①保育園は、障がいを持つ子どももそうでない子ども「共生」「共有」の観点から、当たり前のこととして保育するという考え方にあなたは共感しているか	2
②障がい児が入園した時、安全管理や個別対応などその子を受け入れるための保育を積極的に進めようと考えているか	3
③日常的に障害児の保護者との話し合いの場を設けて、不安や焦り等悩みを抱えている保護者の気持ちの援助に心がけているか	2

3 行事	自己評価
①園行事について、その意味について十分に考えてから、保育の中に組み込んでいるか	1
②行事を保育に取り入れるときには、それが子どもの健やかな育ちにつながる意味をもつことを意識しているか	2
③みんなで楽しむとともに、一人ひとりが十分に自分の力を発揮できるような行事となっているか	3
④子ども達にとってもその季節や時期にしか味わえない有意義な体験となるよう工夫しているか	2
⑤子ども達が期待を持って行事に参加できるよう、年間計画の段階から子どもの主体性を尊重する保育場面を用意しているか	2
⑥行事が、子どもの生活や遊びから発展していくように、日常の保育の積み重ねの結果となるよう心がけているか	2
⑦子どもも保護者も期待感を持つ「行事」には、あなた自らも喜んで、余裕をもって参加できているか	2

4 延長保育	自己評価
①長時間にわたる保育を受ける子どもには、家庭的な雰囲気や配慮しているか	2
②次々にお迎えが来るなか不安を抱く子の気持ちを受け止めて、安定した気持ちで待つことができるような適切な対応をしているか	2
③一人ひとりが好きな遊びができるように配慮しているか	2

④異年齢の子ども同士で遊べるような工夫をしているか	2
⑤連絡事項等担任より引継ぎを受け対応ができていますか	2

5 保健活動・安全管理	自己評価
①身長・体重等の測定や医師の診断から発育・発達の状態を把握して、それを保護者や他の職員に伝えるとともに、日常の保育に生かしているか	2
②その子の体調の些細な変化や異常に速やかに対応するために、日常的な体調や機嫌の状態をつかむよう努めているか	2
③子どもに何らかの異常が見つかった場合、より適切な処置ができるように応急処置や救命救急の方法等、日頃から学習をしているか	2
④健康観察で子ども一人ひとりの体調をしっかりと把握しているか	2
⑤日頃から虐待の早期発見を心がけ、虐待が疑われる場合には、園長に伝えるなどの防止策を把握し実施できているか	2
⑥保育室内外の安全点検や整理整頓を毎日怠らないように努めているか	2
⑦地震等の災害や火災、不審者侵入時に備え、積極的に避難訓練等に参加し、非常事態に自分が何をしなければならぬかを把握しているか	2
⑧登降園時の事故防止策について把握し、保護者にも何を注意すればよいか説明することができるか	2
⑨そのまま見過ごしたら明らかに危険な行動には、理由を説明して「いけません」、「やめなさい」などの言葉ではっきりと制止しているか	2
⑩各マニュアルを読み込みを行い、それぞれの対応について理解し、自分だけでなく他職員の役割をしているか	3

6 保護者・地域社会・関係機関との連携	自己評価
①園での様子を伝え家庭での様子を聞くなかで、子どもの育ちを保護者とともに考え、喜び合うことができているか	2
②その日の子どもの健康状態や興味を持った遊びなど、必要に応じてお迎え時に保護者に丁寧に伝えるように努めているか	2
③保護者が育児の悩みや心配事を話してみたり、一緒に考えてくれる存在であると思えるようあなたはこちからすすんで触れ合うことを心がけているか	2
④連絡帳は保護者とその内容をよく理解でき、楽しみにするような書き方ができているか	2
⑤地域の子育てのニーズの把握を行うために、アンテナを張って情報収集を行っているか	3
⑥散歩や行事などで子どもたちが地域の人々と触れ合う機会を持つようにするとともに気持ちよくあいさつをかわしているか	2
⑦公園などの公共の場を使用した後はあなたは子どもたちと一緒に清掃するなど気を配っているか	2
⑧保育園には子育て相談などの「地域の子育て支援」という役割が求められていることを受け止め、自分も積極的に関わっているか	3
⑨子育て相談を実施する際に連携すべき機関（保健センター・児童相談所・医療機関等）の機能について知っているか	2
⑩保育園が発信元になって、園の保護者以外にも子育ての大切さや喜びを伝える役割を担っていることを理解しているか	2

7 保育園の職務・役割分担	自己評価
①園長や先輩保育士の指示がどういう意図で出されているかわからないとき、質問をしたり意見を言ったりできているか	2
②問題を感じたとき、園長や先輩保育士などに、その原因や対策のしかたを相談しているか	2
③職員会議で必要と思う質問や意見をはっきり発言することができるか	2
④欠勤した日の出来事や連絡・注意事項は、自分から尋ねて理解するなど職員間の連携に努めているか	2
⑤教材や備品を丁寧に使用し、毎日点検・管理していますか	2

8 保育士としての資質向上（研修・研究活動）	自己評価
①保育士としての責務と誇りを自覚して、人間性と専門性の向上に努めているか	2
②自分の保育を振り返り、問題点や課題を見つけることができているか	2
③自分の保育に対する批評や意見を感情的にならず謙虚に聞き、時には反省することができるか	2
④その日の子ども一人ひとりの活動や姿を、しっかりと記録に留めることができているか	2
⑤他のクラスの保育について、疑問や感想・意見をお互いの向上のために言葉に配慮しながら素直に述べることができるか	2
⑥研修で得た内容・成果は、他の職員にわかるように丁寧に説明し、意見交換をするために役立っているか	2
⑦初心を忘れることなく謙虚に、また常に向上心を持ち積極的に仕事に取り組んでいるか	2
⑧研修会の機会があれば積極的に参加しているか	2

9 組織の一員としての在り方	自己評価
①規律を遵守し、組織の和を乱す言動を慎み他者の模範となる行動を心がけているか	2
②特定の人間とのみならずだれとも公平公正に接しているか	2
③他人の考えを尊重し一方的に考えをおし付けず、適切なコミュニケーションを実践しているか	2
④園長や他職員との報連相をしっかりと行っているか	1
⑤園児獲得への情報発信は自らのできることを考え、積極的に行動しているか	2

今年度の反省

昨年度に引き続き保育所保育指針の読み込み不足についての反省が多くあった。行事、季節、子どもの興味等に合わせ活動が途切れ途切れになってしまう事が多くあった。在園児の保護者とのコミュニケーションはとれていたが、地域との連携はデイサービスや近隣店舗等に留まってしまった。

次年度の目標

保育所保育指針の読み込み機会を増やし、指導計画作成の際に十分に活用していけるようにする。日々の保育の中で子どもの興味関心や発達過程を意図しながら、途切れのない連続性のある保育を意図していくこと。園の保護者のみならず、地域の子育て支援を意識し、職員全体でアンテナをはって子育てニーズの情報収集を行う。地域との交流の機会を作る。